



富山県

No.74 2015年1月

中央植物園だより



第17回私の植物写真展応募作品「ふんわりと…」 撮影／山崎勇さん

ヒメガマ（ガマ科）

ヒメガマは雄花序と雌花序の間に隙間があることでガマと区別されます。綿毛の根元に小さな種子がついており、写真のように風によって遠くへ運ばれます。

第2回「クリスマスローズ展」



昨年度好評だったクリスマスローズ展を富山クリスマスローズの会の協力によって2月20日（金）～22日（日）にサンライトホールにおいて開催します。期間中21日（土）には講演会「クリスマスローズの野生種を訪ねて」、22日（日）にドリアスホールにて栽培講習会も開かれます。



BOTANIC GARDENS OF TOYAMA

「くすりの植物」コーナー開園1周年記念 売薬版画と富山のくすり 開催レポート

平成26年9月5日(金)から10月29日(水)まで、特別展くすりの植物コーナー開園1周年記念「売薬版画と富山のくすり」が開催されました。富山で生産された薬は「売薬さん」によって全国に販売され、その際薬の「おまけ」として版画が配られました。特別展では富山市売薬資料館、株式会社廣貫堂、富山大学和漢医薬学総合研究所 民族薬物資料館、富山県薬業連合会のご協力により、売薬版画の拡大複製40点と売薬さんの衣装や持ち物、くすりの植物コーナーに栽培展示してある植物の生薬サンプル、現在の配置薬のパッケージなどを展示しました。9月7日(日)と10月5日(日)には富山市売薬資料館学芸員の兼子心さんによる版画の内容についての展示解説が行われました。



売薬さんの衣装と柳行李や懸場帳など貴重な資料を展示。



写真は富山の風景の版画(拡大複製)。このほか歌舞伎役者などの版画を展示。



富山市売薬資料館学芸員兼子心さんによる展示解説。



生薬サンプルと原料となる植物

ペレットボイラーが完成しました

開園以来、温室の暖房に使用してきた灯油ボイラーが老朽化してきたため、燃料の灯油に代わって、県内産のスギの間伐材を原料とした木質ペレットを燃料とするペレットボイラーを導入することになりました。これは県産材の有効利用とCO²排出削減に貢献するもので、4月から雲南温室北側で工事が始まり8月下旬に完成、気温が低下し始めた12月から本格運転が始まりました。出力100万kcal/hの国内最大級のペレットボイラーです。



ペレットボイラー室外観。



燃料の木質ペレット



ボイラー室内部

植物園トピックス

熱帯果樹室のピリバ初結実

ピリバはバンレイシ科の植物で、ブラジル原産の果樹の1つです。近縁のバンレイシが“伯爵の果物”と呼ばれるのに対して、ピリバは“伯爵夫人の果物”と呼ばれています。味は甘さ控えめで酸味があり、ヨーグルトに似ているそうです。

6月に開花し始め、20個以上の花を人工授粉した結果、6個結実しました。植物園では開園（1996年）以来はじめての結実となりました。



研究紹介◎『中国雲南省南部の希少なベゴニア類の保全に向けて』

栽培展示課主任 志内利明

ベゴニア属 (*Begonia*) は世界の熱帯から亜熱帯に分布し、中国では130種余りの多くが雲南省南部と広西チワン族自治区西南部に集中しています。しかし、そのほとんどの種類が自生地の破壊などで個体数を減らしており、その保全が急務となっています。そこで、2013年、2014年に昆明植物研究所と共同で雲南省南部の希少なベゴニア類の保全のための基礎的な調査を実施しました。その中で次の2種について簡単に紹介します。

Begonia versicolor (変色秋海棠)

樹高30m以上のシイ類やマテバシイ類の優先する二次林の林床や林道のノリ面に生育していました。分布域が比較的広く、調査した自生地は国の保護地域に指定されているため、開発によって急に絶滅に瀕することはないと考えられました。データロガーによると、2013年12月に100年

1度ともいわれる低温(-0.8℃)で1m以上もの積雪に見舞われましたが、生育障害が見られなかったため、気象的要因で個体数を減らすことはないようです。自生地では個体によって葉が濃赤色のものから淡赤色、濃緑色や淡緑色と様々に「変色」の状態、園芸的価値の高いものが数多くありました。すでに園芸目的の乱獲により個体数を減らす懸念があります。

B. guilingensis (古林箐秋海棠)

自生地は焼畑による人為的干渉が強く、薬用に用いるショウガ科の *Amomum tsaoko* の栽培やコウヨ



図1. A. *Begonia versicolor* の自生地環境, B. *B. versicolor*, C. *B. guilingensis* 自生地での焼畑の様子, D. *B. guilingensis*.

ウザン *Cunninghamia lanceolata* の植林として利用が進行中です。二次林内と焼畑内の自生地を比較したところ、焼畑内の方が栄養的に増殖するなどして高い個体群密度を示す場所がありました。しかし焼畑内は光環境の改善による一時的な増殖であり、その後のかく乱でほとんど消滅したのを確認しています。本来の生育地である森林の減少とともに個体数を減らしているのが現状で、昆明植物研究所では緊急の保全対策として自生地内での移植実験や昆明植物園での自生地外保全に着手しています。

植物園の月例行事と講習会 その3 栽培講習会

今年度は植物園で定期的実施している月例行事や講習会を紹介しています。今回は栽培講習会です。

ラン、クリスマスローズ、雪割草などの展示に合わせて、それぞれの植物を専門に栽培している方を講師にお招きして、栽培講習会を開催しています。実際に栽培している鉢を用いて、栽培のコツをわかりやすく解説しているので、毎回多数の受講者で会場はにぎわっています。会場や時間はそれぞれの講習会によって異なりますので、事前にご確認ください。



ランの栽培講習会。年3回行われるラン展に併せて富山県蘭協会会員によって、洋ラン、寒ラン、エビネなどそれぞれ得意の種群について解説されます。



富山雪割草の会会員によって、雪割草の品種や栽培方法が解説されます。受講者からの多くの質問にも丁寧にお応えしています。

催し物のご案内

■企画展示 サンライトホール

企画展には入園料が必要です。

干支にちなんだ植物

12月12日(金)～1月21日(水)

第2回新春カトレヤ展

1月4日(日)～1月7日(水)

1月4日は臨時開園します。

平成26年度 研究発表展

1月23日(金)～2月18日(水)

第2回クリスマスローズ展

2月20日(金)～2月22日(日)

第43回富山県蘭まつり大会

2月27日(金)～3月1日(日)

第11回雪割草富山県大会

3月6日(金)～3月8日(日)

北陸新幹線開業記念「富山のお花見」

3月13日(金)～

■講座・講習会

★平成26年度研究発表会

1月25日(日) 13:00～16:00

会場：管理研修棟研修室

★講演会

「クリスマスローズの野生種を訪ねて」

2月21日(土) 13:30～15:00

会場 ドリアスホール

講師 松浦克郎(富山クリスマスローズの会)

入園料が必要です。

★栽培講習会

「クリスマスローズの栽培と管理」

2月22日(日) 13:30～15:00

会場 ドリアスホール

入園料が必要です。

★栽培講習会「ランの栽培と管理」

2月28日(土)・3月1日(日)

10:30～12:00、14:00～15:30

会場：管理研修棟研修室

★栽培講習会

「雪割草の栽培と管理」

3月7日(土)・8日(日)

13:30～15:30

会場 ドリアスホール

入園料が必要です。

■月例行事

月例行事には入園料が必要です。

植物ガイド

ーポランティアと歩く植物園ー

第1、2、4日曜日 13:30～14:00

ー園長と歩く植物園ー

第3日曜日 13:30～14:00

集合場所/サンライトホール

★印は植物園ポランティアの養成講座です

富山県中央植物園 入園案内

開園時間 9:00～17:00(入園は16:30まで)

(11月～1月は9:00～16:30、入園は16:00まで)

休園日 毎週木曜日

(4月中とGW、お盆、祝日の場合は開園)

年末年始(12月28日～1月4日)

入園料 大人(一般および大学生) 500円
 団体料金(20名以上) 400円
 高校生以下通年無料

冬期入園料(12月～2月)
 大人(一般および大学生) 300円
 団体料金(20名以上) 240円
 高校生以下通年無料

年間パスポート(購入日より1年間有効) 2,000円

交通案内 JR富山駅から、富山地铁バス「ファボーレ經由萩の島循環」または「ファボーレ經由速星行き(休日のみ)」に乗車し「中央植物園口」停留所下車、徒歩約12分/富山市中心部より車で約15分/北陸自動車道富山インターより車で約15分/JR速星駅より車で約8分